

※掲載しきれないイベント情報等についても、[市ホームページ 脱炭素に向けた支援メニュー等]で紹介していますのでぜひご覧下さい。
<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1003753/1032970.html>

○ 今回のお知らせ一覧

01. 【令和7年度脱炭素に向けた支援制度～中小企業等向けガイドブック～(第1版)】
発行のお知らせ
尼崎市／新規
02. 令和7年度のグリーンビークル導入補助を開始しました
尼崎市／新規
03. 兵庫県の事業者用太陽光発電の共同調達支援事業の公募が開始されました
兵庫県／新規
04. 兵庫県の水素ステーション整備費補助事業・燃料電池モビリティ利活用促進事業の公募が開始されました
兵庫県／新規
05. 省エネルギー設備投資に係る利子補給金の2次公募が開始されました
(一社)環境共創イニシアチブ／新規
06. 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業の公募が開始されました
(一社)環境金融支援機構／新規
07. IT導入補助金2025(通常枠)の3次公募が7月18日(金)に終了します
IT導入補助金2025事務局(TOPPAN株式会社)／新規
08. 再エネ等由来水素を活用した自立・分散型エネルギーシステム構築等事業の公募が開始されました
(公財)北海道環境財団／新規
09. 再エネ水素ステーションの保守点検事業の補助金の公募が開始されました
(公財)北海道環境財団／新規
10. 電気自動車等の充電設備補助の第2期公募が開始されました
(一社)次世代自動車振興センター／新規
11. 燃料電池フォークリフトの導入補助の公募が開始されました。
(公財)北海道環境財団／新規
12. 「物流脱炭素化促進事業」の2次公募が開始されました
令和7年度 物流脱炭素化促進事業事務局
(パシフィックコンサルタンツ株式会社)／新規
13. 長期優良住宅化リフォーム推進事業の公募が開始されました
(一社)すまいづくりまちづくりセンター連合会／新規
14. 令和6年度補正予算建築物等のZEB化・省CO2化普及加速事業の2次公募が開始されました
(一社)静岡県環境資源協会／新規
(公財)北海道環境財団／新規
15. 令和7年度予算の業務用施設のZEB化・省CO2化に資する高効率設備等の導入支援

事業の公募が開始されました

(一社) 静岡県環境資源協会／新規

16. 業務用建築物の脱炭素改修加速化事業（令和7年度脱炭素ビルリノベ 先導モデル導入事業）が開始されました

(一社) 環境共創イニシアチブ／新規

17. 添付資料：あまがすきエコ通信(令和7年7月)

01. 【令和7年度脱炭素に向けた支援制度～中小企業等向けガイドブック～(第1版)】
発行のお知らせ

尼崎市／新規

尼崎市では、国や兵庫県、尼崎市における省エネ・地球温暖化対策のための補助金・減税等の支援制度をとりまとめた【令和7年度脱炭素に向けた支援制度～中小企業等向けガイドブック～(第1版)】を発行します。脱炭素経営に向けて、皆様の事業活動の一助としてご活用ください。

詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1003753/1003781.html>

02. 令和7年度のグリーンビークル導入補助を開始しました

尼崎市／新規

尼崎市では、地球温暖化問題及び大気汚染の対策として、環境負荷の低減に寄与するグリーンビークル導入に要する費用の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年7月1日(火曜日)～令和8年1月30日(金曜日)
ただし、登録後申請の場合、令和7年12月26日(金曜日)までに新車車両登録されたものに限りませ。

■補助額

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 電気自動車(小型及び軽自動車) | : 10万円 |
| (2) 電気自動車(普通自動車) | : 15万円 |
| (3) 燃料電池自動車 | : 60万円 |
| (4) 電気タクシー | : 10万円 |
| (5) 燃料電池タクシー | : 60万円 |

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1003762/1038696.html>

03. 兵庫県の事業者用太陽光発電の共同調達支援事業の公募が開始されました

兵庫県／新規

兵庫県では、太陽光発電設備導入を希望する県内事業者と施工事業者のマッチング等を行う「事業者用太陽光発電の共同調達支援事業」を実施しています。

■公募期間(予定)：令和7年6月下旬～

補助金交付には条件がありますので、公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/kyoudoutyoutatupage.html>

04. 兵庫県の水素ステーション整備費補助事業・燃料電池モビリティ利活用促進事業の公募が開始されました

兵庫県／新規

兵庫県では、水素ステーションの整備に要する費用の一部、また、パッケージ型水素供給設備の設置に要する費用の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年6月11日(水曜日)～令和7年7月11日(金曜日)

公募の詳細は以下サイトをご覧ください

https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/taiki/leg_238/leg_328

05. 省エネルギー設備投資に係る利子補給金の2次公募が開始されました

一般社団法人環境共創イニシアチブ／新規

一般社団法人環境共創イニシアチブでは、省エネルギー設備の新設・増設などの省エネ取組の融資利息の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年6月27日(金曜日)～令和7年8月8日(金曜日)

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://sii.or.jp/rishihokyu07/financial-loan.html>

06. 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業の公募が開始されました

一般社団法人環境金融支援機構／新規

一般社団法人環境金融支援機構では、環境省が定める基準を満たす脱炭素機器をリースにより導入した場合に、当初リース契約期間の総リース料（消費税及び再リース料を除く）の4%以下の補助金を指定リース事業者に対して交付しています。

■公募期間：令和7年6月12日(木曜日)～令和8年3月5日(木曜日)

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://esg-lease.or.jp/>

07. IT導入補助金2025（通常枠）の3次公募が7月18日（金）に終了します

IT導入補助金2025事務局（TOPPAN株式会社）／新規

IT導入補助金2025事務局（TOPPAN株式会社）では、排出量の見える化・使用エネルギー量の管理を行う排出量算定ツールやエネルギーマネジメントシステムの導入などITツールを導入することで中小企業等の生産性向上に資する取組に係る費用の一部を補助しています。

■公募期間：～令和7年7月18日(金曜日) 17時

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://it-shien.smrj.go.jp/schedule/>

08. 再エネ等由来水素を活用した自立・分散型エネルギーシステム構築等事業の
公募が開始されました

公益財団法人北海道環境財団／新規

公益財団法人北海道環境財団では、水素を活用した自立・分散型エネルギーシステム及び水素サプライチェーンを構築するための設備を導入する費用の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年6月9日(月曜日)～令和7年10月31日(金曜日) 18時(必着)

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://www.heco-hojo.jp/yR07/suisoj/competition.html>

09. 再エネ水素ステーションの保守点検等事業の補助金の公募が開始されました

公益財団法人北海道環境財団／新規

公益財団法人北海道環境財団では、低炭素な水素の利活用を推進するため、再エネ由来電力による水素ステーションの保守点検等に係る費用の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年6月9日(月曜日)～令和7年11月28日(金曜日) 18時(必着)

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://www.heco-hojo.jp/yR07/suisoh/competition.html>

10. 電気自動車等の充電設備の第2期公募が開始されました

一般社団法人次世代自動車振興センター／新規

一般社団法人次世代自動車振興センターでは、電気自動車等の充電設備の購入費及び工事費の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年7月1日(火曜日)～令和7年7月22日(火曜日) 13時

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://www.cev-pc.or.jp/>

11. 燃料電池フォークリフトの導入補助の公募が開始されました。

公益財団法人北海道環境財団／新規

公益財団法人北海道環境財団では、燃料電池フォークリフトを導入に係る費用の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年5月29日(木曜日)～令和7年11月28日(金曜日) 18時(必着)

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://www.heco-hojo.jp/yR07/fork/competition.html>

12. 「物流脱炭素化促進事業」の2次公募が開始されました

令和7年度物流脱炭素化促進事業事務局
(パシフィックコンサルタンツ株式会社)／新規

令和7年度「物流脱炭素化促進事業」事務局(パシフィックコンサルタンツ株式会社)では、物流施設等において、大容量蓄電池等を活用した物流の脱炭素化促進に資する取組を実施するため、再生可能エネルギー電気の利用に必要な設備や、その電気を利用する車両等の導入を行う実証事業に要する経費の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年6月13日(金曜日)～令和7年7月11日(金曜日) 16時(必着)

公募の詳細は以下サイトををご覧ください。
<https://pacific-hojo.com/bgxx/content/>

13. 長期優良住宅化リフォーム推進事業の公募が開始されました
一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会／新規

一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会では、既存住宅や住宅ストックに対し、適切なメンテナンスによる長寿命化等に資する優良な取り組みに係る費用の一部を補助しています。

■公募期間：
・通年申請タイプ(第1期)：～令和7年9月30日(火曜日)

公募の詳細は以下サイトををご覧ください。
<https://r07.choki-reform.mlit.go.jp/>

14. 令和6年度補正予算の建築物等のZEB化・省CO2化普及加速事業の2次公募が開始されました
一般社団法人静岡県環境資源協会／新規
公益財団法人北海道環境財団／新規

一般社団法人静岡県環境資源協会、公益財団法人北海道環境財団では、建築物のZEB化・省CO2改修に係る費用の一部を補助しています。

- (1) クーリングシェクターの普及に向けた高効率空調導入支援事業
- (2) 民間建築物等における省CO2改修支援事業
- (3) 空き家等における省CO2改修支援事業
- (4) テナントビルの省CO2改修支援事業
- (5) フェーズフリーの省CO2独立型施設支援事業
- (6) サステナブル倉庫モデル促進事業

■公募期間：令和7年6月23日(月曜日)～令和7年7月25日(金曜日) 17時まで

公募の詳細は以下サイトををご覧ください。
(1)～(4)：一般社団法人静岡県環境資源協会 支援センター
<https://siz-kankyuu.com/>
(5)(6)：公益財団法人北海道環境財団
<https://www.heco-hojo.jp/>

15. 令和7年度予算の業務用施設のZEB化・省CO2化に資する高効率設備等の導入支援事業の公募が開始されました
一般社団法人静岡県環境資源協会／新規

一般社団法人静岡県環境資源協会では、業務用施設のZEB化・省CO2化に資する高効率

設備等の導入に係る費用の一部を補助しています。

- 建築物等のZEB化・省CO2化普及加速事業
- ・ ZEB普及促進に向けた省エネルギー建築物支援事業
- ・ LCCO2削減型の先導的な新築ZEB支援事業

■公募期間：令和7年6月10日(火曜日)～令和7年7月18日(金曜日) 17時

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。
<https://siz-kankyuu.com/2025co2/>

16. 業務用建築物の脱炭素改修加速化事業（令和7年度脱炭素ビルリノベ 先導モデル導入事業）が開始されました

一般社団法人環境共創イニシアチブ／新規

一般社団法人環境共創イニシアチブでは、既存の業務用建築物における先進的な脱炭素改修の実施に併せて、建築物のライフサイクル全体でのCO2排出量の低減に資する技術・建材等の導入に係る費用の一部を補助しています。

■公募期間：令和7年6月10日(火曜日)～令和7年7月11日(金曜日) 午後11時59分締切

公募の詳細は以下サイトをご覧ください。
<https://bl-renos.jp/t7/>

◆◆◆編集員のつぶやき◆◆◆

大阪関西万博が開幕して3ヶ月が経ちました。数あるパビリオンの中でも「ファルネーゼのアトラス」とミケランジェロの「復活のキリスト」という国宝級の2大傑作彫刻を擁するイタリア館は特に人気が高く、予約困難な状況が続いているようです。

さて、これらの傑作彫刻を生んだイタリアでは、世界遺産・ベネツィアを水没の危機から救うべく、革新的な計画が発案されました。

ラグーン(潟湖)上の低地にあるベネツィアは過去100年の間で25cm沈下した一方、平均海水面は1世紀の間で30cm上昇し、ベネツィアのランドマークであるサンマルコ広場が水に浸かる光景も珍しくなくなりました。

イタリア政府もベネツィアの危機を前に、手を拱いていたわけではなく、巨大な資金を投じ「モーゼ」という可動式の防潮堤を設置する等の対策を講じてきました。

しかし、可動式の防潮堤は水の流入防止には効果的ですが、防潮堤を持ち上げるとラグーンが事実上閉ざされるため、交通や生態系への悪影響が避けられず、妙案が期待されていたところ、ベネツィアの地下深くに水を注入し、海底を隆起させて、沈みゆく都市全体をもち上げてしまおうという計画が考案されました。

一見、荒唐無稽に見えるこの計画案ですが、防潮堤等既存の対策と組み合わせることでラグーンを閉じて湖に変えたり、水の代わりにコンクリートを注入する方法よりも生態系や景観保全に配慮したより良い方法だそうです。

しかしながら、それでも計画の立案者は50年ほどの時間稼ぎに過ぎず、この間に恒久的な対策が必要であると言います。ベネツィアが水没の危機から完全に脱するまでにはまだまだ模索が続きます。

尼崎市 経済環境局 環境部 環境創造課
〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1-23-1
電話 06-6489-6301 ファックス 06-6489-6300
Eメール | ama-kankyo-sozo@city.amagasaki.hyogo.jp
